



第105号

2012/10

全国朝市

京橋朝市 301 回記念、なぜ朝市はできたか

文 = 岡将男

■今日は、全国朝市。一年で最も京橋朝市が賑やかで、路面電車の臨時停留所もできる日である。平成元年から 301 回の開催、よくぞ続いたものだと思うが、これも地元町内会と毎回来てくれるお客様のお蔭である。

■京橋朝市開設のよもやま話をしよう。当時岡山未来デザイン委員会という市民団体が、昭和 61 年の京橋ホバークラフト就航運動をきっかけとして設立され、岡山市の都心空洞化対策として様々なイベントを仕掛けた。表町南部の木下サーカスにちなんだ「サーカスランド」構想、郷土岡山の作家・内田百閒の顕彰運動等だが、その中で、京橋が最も栄えたのは明治時代も汽船が大阪航路から乗入れてから、明治 24 年に山陽鉄道岡山駅ができ四国連絡を京橋から行った頃から宇野線が開業するまでだった。

■江戸時代以来、京橋は栄えた。宇喜多直家が岡山城下町を作る時、まず旭川を付替え、続いて山陽道を北からここに移し、続いて宇喜多秀家時代に京橋を掛けた。それ以前には川東の古京に京橋があったが、水路変更で、この京橋が出来た。もと京橋があった所を古京町という。内田百閒が生まれた町だ。

■こうした歴史に学んで、岡山の



町づくりのプランを岡山未来デザイン委員会が書くなかで、昭和 62 年に「岡山城築城 400 年事業」「後楽園 300 年事業」「路面電車環状化事業」を提案した。それぞれ岡山市、岡山県、岡山商工会議所に取り上げられ、岡山城は改築され、幻想庭園も始まった。そして我々 RACDA は路面電車環状化を実現するために、岡山商工会議所の別働隊として設立された。

■京橋のにぎわいを取り戻す事は、「岡山のへそ」に力を入れることになる。当時岡山未来デザイン委員会では岡山初の「西川フリーマーケット」を実施していたが、現京橋朝市実行委員長の大島正勝さんの提案で、朝市をやろうとい

うことになった。ノウハウとしては西川フリーマーケット、朝市にするというのは、元々中央市場機能が京橋にあったという歴史的経緯を重視したからである。

■もしホバークラフトが就航していれば、京橋から小豆島、犬島、関西国際空港、徳島、和歌山、高松にまで航路を延ばす計画もあった。現在 RACDA では瀬戸内の島々交流協議会(島会)と、第二回瀬戸内国際芸術祭に向けて、犬島、豊島航路も画策中だが、すべて岡山未来デザイン委員会当時の構想の延長にある。朝市は単独に朝市としてあるのでなく、大きな構想の中であるということも知って欲しい。

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502

E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

RACDA

検索

NPO法人 公共の交通ラダ
RACDA詳しくは http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/ まで